

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム あおぞら

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

前谷 満里子

評価完了日

平成20年1月12日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月24日

【評価実施概要】

事業所番号	3870501636		
法人名	新居浜医療生活協同組合		
事業所名	グループホーム あおぞら		
所在地	愛媛県新居浜市南小松原町 8 - 6 8 (電話) 0897-65-3511		
管理者	前谷 満里子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目 5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年1月22日	評価確定日	平成20年3月24日

【情報提供票より】 (平成20年1月10日事業所記入)

(1) 組織概要					
開設年月日	平成18年3月1日				
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人		
職員数	8 人	常勤	8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8.0人		
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)					
家賃(平均月額)	30,000 ~ 45,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる		
敷金	有(円) (無)				
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / (無)		
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円	
	夕食	400 円	おやつ	円	
	または1日当たり 1,200 円				
(3) 利用者の概要 (平成20年1月10日現在)					
利用者人数	9 名	男性	6 名	女性	3 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名		
要介護3	1 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	70 歳	最高	95 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算					
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護				
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護				
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護				
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算				

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、おやつ時や昼食時に利用者と一緒にゆっくり過ごせるような時間を作っておられる。利用者の方から食事作りの知恵を教わったり、時に、職員の悩み事等について相談に乗ってくださることもある。
 調査訪問時、利用者の方が、居室で詩吟を披露してくださった。ぬり絵や手芸等、趣味のことをされている方もおられた。
 廊下に椅子を置かれたり、歩く訓練をされている方もおられる。廊下でくつろがれている利用者の足元には、暖房器具が用意されていた。居間には畳の間もあり、趣味の本や小説等も並べられていた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて、台風時の夜間の職員体制を2名とされたり、防火設備の充実を図っておられた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・職員全員で自己評価に取り組み、利用者への接し方等について振り返られた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議時、災害時の対応について話し合いを行ない、地域の方にも協力いただけるようになった。又、地域の方から「会議に参加することで認知症についての理解が深まった。」「ホームが近くにできてよかった。」というような声もいただき、心強く感じておられた。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族の思いをうかがうことを目的としたアンケートを実施された。さらに、運営推進会議の場でも、ご家族から意見をうかがえるよう場面作りをされている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・利用者ととともに地域の文化祭に出かけ、楽しまれている。近所の方に、災害時避難の協力も快く引き受けていただいている。管理者が自治会に加入されている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の行事への参加は取り組めていないが、近隣の理髪店、スーパー、散歩等で利用者の方に挨拶や話しかけて頂いている。		利用者様の高齢化で地域の皆様にグループホームに訪れてくれる様に季節の行事へ参加を呼びかけてゆきたい
			(外部評価)		
			地域に開かれたグループホームの運営に取り組むことを理念に揚げ、取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			グループホーム内に三ヵ所掲示してあり、理念の共有と実践は心がけている。		開設前に管理者が作成した為、今後は職員一同で理念作りを検討してみる必要がある。
			(外部評価)		
			毎月行なわれるカンファレンス時、管理者は、事業所の理念について話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			グループホームの玄関やグループホームのしおりに理念をかかげております。地域の人々に理解していただけるまで浸透していない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 挨拶をかわす程度であるが、何かの時は協力をして頂けると言ってもらえるようになった。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会への加入 将棋クラブに参加させてもらっている。 (外部評価) 利用者とともに地域の文化祭に出かけ、楽しまれている。近所の方に、災害時避難の協力も快く引き受けていただいている。管理者が自治会に加入されている。		管理者は、今後、地域のいきいきサロンに参加し、認知症のことや介護について、又、事業所のことをさらに知ってもらえるよう働きかけていきたいと考えておられる。さらに、地域の方達が事業所に来ていただけるような取り組みも検討されていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 近所の独居高齢者の話し相手と見守りを支援する。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の意義は、認識している。グループホームの側の視点は、独善的になりやすい為、第三者の意見や視点を頂ける機会ととらえる。 (外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、利用者への接し方等について振り返られた。前回の評価結果を受けて、台風時の夜間の職員体制を2名とされたり、防火設備の充実を図っておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議には、利用者様とその家族も出席し、地域の人達と意見を交換する場やサービスについて理解して頂ける一つの場となっている。		
			(外部評価)		
			会議時、災害時の対応について話し合いを行ない、地域の方にも協力いただけるようになった。又、地域の方から「会議に参加することで認知症についての理解が深まった。」「ホームが近くにできてよかった。」というような声もいただき、心強く感じておられた。		今後も、いろいろな方に会議に参加していただき、事業所のことをさらに知っていただき、意見をいただきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議や事業所の運営でこまった時に相談させて頂き指導してもらえます。新居浜市の管理者会議に参加し情報交換が来ています。		
			(外部評価)		
			市の担当者も市のグループホーム管理者会議に参加されており、記録の方法や運営推進会議の進め方等について相談されたり意見交換を行っておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			権利擁護については、制度を理解している。必要があれば、説明は出来る。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			日常ケアにおいて、3大拘束がないよう常に心がけている。精神的な虐待。無視や人格の軽視がないよう心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分時間をとっている。契約書は、条項について読み、説明し、理解頂けた時点で契約書を作成。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ケアについては、常に利用者様の意見を聞き、解決や意見の取り入れに取り組んでいる。来訪者の制限がなく、お話を聞く機会をとっている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 異常時は、いち早く家族に連絡し、受診の援助をしている。健康診査やインフルエンザワクチンの予防接種は、家族の許可のもとに全員うけられるようにしている。		
			(外部評価) 利用者の暮らしぶりをFAX・電話・訪問時等でご家族に報告されている。耳の不自由な方と「あおぞら日記」というノートでコミュニケーションを図り、ご家族が来られた際に見るようにされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情については、窓口が一本であり、訴えづらい面がある。		隣接する住人からクーラーの騒音で苦情があり、室外機の設置所を即、変更し好印象をもって頂けた。
			(外部評価) ご家族の思いをうかがうことを目的としたアンケートを実施された。さらに、運営推進会議の場でも、ご家族から意見をうかがえるよう場面作りをされている。		事業所では、今後、苦情ノートを作ったり、家族会の実施を呼びかける等、ご家族からの意見をさらに引き出していきたいと考えておられる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 1回/月、定例会の実施。申し送りや気づきのノートを作成して情報の交換意見を反映している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者様の生活様式に合わせて夏季には、サマータイムを導入しています。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 人員配置は、法令順守しているも離職や移動があり、馴染みの職員がいなくなることで淋しいと思われる。		
			(外部評価) 以前は職員の離職があったが、現在は、ほとんどなく利用者と職員は馴染みの関係となっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員とのマンツーマンでの教育。 日々のケアの実践から職員同士がケアを学ぶ。 研修への参加。自己研鑽。		
			(外部評価) 最近では、東予地区グループホーム協議会主催の感染症についての研修や、法人内の火災やノロウイルスについての研修を受けておられる。計画を立て、職員の段階や本人の希望に応じて、受講できる体制となっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			新居浜市のグループホーム管理者会に出席し、交流・意見交換や学びの場となっている。地域の医療連携機関の研修会へ参加し、質の向上を計っています。		
			(外部評価)		
			県グループホーム協議会の相互評価事業に参加され、他事業所と意見交換を行われた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員間でのレクレーション等の催しがなく、悩みをためこんで離職される。ゆとりがもてていない現状で非常に厳しく感じています。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			施設見学には、家族・本人様も来て頂いています。契約時も可能な限り同席し、グループホームのことを説明し、不安なこと、求めていることに答えるようにしています。事前に家庭訪問させて頂き環境等生活史を知る機会を持っています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談の段階から家族様の話を傾聴し、利用者様への思いや今後の希望等も語って頂けるよう時間をゆっくり持たせて頂いています。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 環境、日常生活状況を知り配慮させて頂き個別性を尊重し、今迄の生活の楽しみを持続出来るよう配慮しています。 (外部評価) 入居前にご自宅等、ご本人ご家族を訪問し、ゆっくりとお話されている。又、ご本人の状態についてソーシャルワーカーや医療関係者とも話し合われている。職員は、ご本人の生活歴を知り、ご本人が馴染みやすいような雰囲気作り心がけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) お話を聞かせて頂くことで学ばせて頂くことが多く、しきたり、作法、料理等教えて頂いております。 (外部評価) 職員は、おやつ時や昼食時に利用者とゆっくり過ごせるような時間を作っておられる。利用者の方から食事作りの知恵を教わったり、時に、職員の悩み事等について相談に乗ってくださることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) いつでも来所して頂けます。お茶をお出ししたり、お話を聞かせて頂いたり、毎日、来所される家族さんもおられます。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者様とご家族様の思いを大切に外泊や外出の機会に支障がないよう支援させて頂いています。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) お友達から電話がかかって来たり、同居していない御親族の集まりの場になっております。グループホームで親族が集まり白寿の会もしました。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 共有室や廊下等、団欒の場をもうけている。食後1時間は、スタッフも一緒に話し合いの時をもっています。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入所前、利用していたサービス機関に遊びに行く。面会時間は、家族の都合の良い時来て頂いています。(制限は、ありません)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者ひとりひとりを尊重し、その人らしい暮らしの支援に努めている。個別的な対応と意見をいえる関係づくりを心がけるようにしています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室のしつらえや利用者への対応等から、事業所の理念「その人の尊厳あるくらしの支援」に沿って、利用者ご本人の思いや希望を聴き取っておられる様子がうかがえた。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>馴染みの使い慣れた道具や塗り絵や読書等の趣味を取り入れる。季節を感じられる環境、家族も共にくつろげる空間づくり。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者にマイペースで過ごせる様に努めている。ゆっくり穏やかに過ごす。レク等自主参加。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護計画を利用者の家族と相談をしながら作成し、利用者ひとりひとりの特徴、変化等を見てスタッフ同士意見を交換している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「経過観察記録」に、ご本人の言葉や様子等を記録され、日々の変化が分かるようにされている。ご本人の思いを聴き取り、ご家族、医師とも相談し、職員とも話し合いながら介護計画を作成されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画を利用者の家族と相談し、変化が生じた場合、スタッフ同士話し合いを持ち、新しく計画を作成する。		
			(外部評価)		
			介護計画について3ヶ月に1度の見直し、変化があればその都度、職員、医師とも話し合っで見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			利用者ひとりひとりの日々を具体的に記録している。一日のきらっとしたところ、良い面を見つける。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			日常生活のリハビリ。医学的管理の支援。身体機能低下の防止。話し相手、心の支援。家族様との交流。地域交流の支援。		
			(外部評価)		
			理美容の利用時や買い物、病院受診時の付き添い等、ご本人ご家族の希望に沿って支援されている。利用者は、職員とともに地域の集まりに出かけ、将棋を楽しんでおられる方もおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 家族、ボランティア等の見学等の受入をしながら、地域との交流を図っている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用者の生活の安定をはかる為ケアマネジャー・やサービス機関を相互訪問し、意見交換を行っている。地域周辺より散歩時、声かけ等の協力を得よう努めている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議の出席はありますが、協働までは至らず意見交換と行政のパイプ役になりつつある。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 身体の異常に対応出来る様看護師の配置、訪問往診、訪問看護等協力機関がある。緊急時マニュアルを作成している。 (外部評価) 年に1回、市の健康診断を全員受けるようになってきている。利用者の希望で、これまでのかかりつけ医を受診される方や、協力医の往診を受けておられる方もいる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 中核症状については、治療を必要としている利用者様には、専門医を受診し、医療との情報交換、介護上の指導をして頂いた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療に関して看護職の人は、24時間待機して下さりその都度対処して下さっています。緊急時夜間も対応しています。		利用者様に対して医師ともう少し密な連絡が取り合う事が出来ればと思います。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者様が入院されている場合、常に所長(ケアマネージャー)が医療機関の人と連絡を取り合い情報を交換し、気持ちよく退院出来る様努められています。		医療機関からもっとグループホームに対して日々の状況説明、利用者の家族にも連絡を取り合い受診の場合家族様にも同行してほしい。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期、重度化してきた場合に関して、まだ職員同士での話し合いに取り組む事が出来ていません。		所長を交え重度化及び終末期に向けたあり方を職員、及び終末期に向けたあり方を持たれたらと思います。
			(外部評価) 重度化、看取りの指針についてご家族に説明をされている。		さらに、事業所内でも、職員間で指針について共有し、看取りの体制等について、話し合う機会を増やしていかれることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化、終末期に向けた利用者様の支援の見極めに関して検討中です。		本人にとって最終を迎えるに当たり、やすらぎのある生活、またおだやかな日々を送れる様検討している事に取り組んでもらいたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人又は家族の方からグループホームの別の居所への希望があれば環境全て安心され十分な情報交換をし、納得され送り出している。		入所される時点介護度を十分見極め利用者様が度々変わる事のない様職員の人達とも話し合いの上、入所を決めて頂ければと思います。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 各自、個室を設けており面会者が来所された場合、自室又は共有室で十分時間をかけ会話を楽しんで頂いています。		家族の人がもっと頻繁に面会に来て頂き出来れば宿泊もしてあげる事が出来ればと思います。
			(外部評価) 職員は、ご本人や周りの方に配慮しながら、落ち着いた態度で、接しておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者様や家族様との話し合いで希望が表出される場合、職員は、その日に希望にそって入浴、食事、薬といるいな面で支援させて頂きます。		家族さんの同意、同行での表出を頻繁にさしてあげる事が出来れば楽しみもふえると思います。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 毎日、その人に合った趣味を生かし、個人の暮らしを大切に努力させて頂きその人の能力に合った手伝いをしながら日々暮しています。		外部の人達の趣味を生かし招待させて頂きグループホームの人達に見せてあげて欲しい。一日一時間を決めレベル低下の為に体操などを取り込まれる事など検討したい。
			(外部評価) 体調に応じて、居室内で食事をされている方がおられた。又、起床時間に合わせ、食事ができるよう対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その人に合った好みの服装、お化粧品などは、アドバイスをし、本人に任せて、自由にしています。又理髪などは、定期的にグループホームに来て頂き容姿に関して目配りもさせて頂いています。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節の催、お誕生日には好物、ケーキなどを準備させて頂き皆様で昼食事にお祝をさせて頂いています。又利用者出来る事を手伝って頂いたり、買物に同行して頂いたり実施しています。 (外部評価) 食材の下ごしらえや後片付け、テーブルを整える等、利用者それぞれができることを行なっておられる様子がうかがえた。食事を摂りながら、利用者と職員は食事のことやテレビ番組の話題で楽しくおしゃべりされていた。		外泊された時、家族さんが来所された時四季の買物、好物など遠慮のない所での外出も喜ばれると思います。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつなどは、毎日工夫し又飲み物などは、その人の状況に合わせて温度、甘さ加減にも心配りをしながら出させてもらっています。		お誕生日、年一度の催事などに好みのお酒類を少量昼食事に出してあげる気配りもどうか。と所長さんと検討してみても如何でしょうか。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄に関しては、プライバシーが幅広くあり。言っではいけない言葉に注意したい。食前後、休む前後には必ず排泄に取組んでいます。オムツは、夜間のみ対応(3人)、日中は0です。		排泄に関しては、プライバシーがあり。同時コール、職員の交替時、スムーズに行かないこともあり、随時対応の困難があります。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			認知症の方は、入浴を拒む事が多いが、時間がくれば無理に入っていたくのではなく声かけを密にし又少し時間をずらすなど身体が常に清潔な様に務めている。		設備の都合でシャワー浴対応の方もおられるが極力、2人介助などで湯舟の中に入っていたく様にしたい。
			(外部評価)		
			湯船に入ることをこわがるような方もおられるが、無理強いすることなく、シャワーや足浴等で対応されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			夜間は、必ず寝巻きを着ていただき、朝と夜の区別をはっきりとつける。又利用者に大きな刺激を与えないよう、おむつ交換やトイレ介助時など迅速にしている。		体位変換が必要な方の介助・夜間排尿が多量な方の適度なトイレ介助など個々に合わせて介助をしている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			チラシを使っでのゴミ箱作りなど簡単な手作業をしたり、色塗り上手な方には花を見てかいていただく、又女性で料理が好きな方などには簡単な料理を手伝っていただく。		利用者の誕生日には普段と違った料理を出したり季節事にクリスマスツリーの設置など生活にメリハリをつけるようにしている。
			(外部評価)		
			調査訪問時、利用者の方が居室で詩吟を披露してください。ぬり絵や手芸等、趣味のことをされている方もおられた。ご自分の洗濯物をされる方や食事作り等にかかわられる方等、それぞれが得意なことを行なえるよう支援されている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			利用者によって御自身で管理してもらったり、当所で管理している。		当所で管理している場合は、当所が立替で、領収書を渡し、お金を徴収するようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			<p>天気の良い日など近くの車の少ない所や土手などをスタッフが同行し、散歩していただいている。スーパーへスタッフと食材の購入に出掛ける。地域の方と挨拶をかわす。</p>		スタッフが買い物に行く時など、利用者の体調に合わせて同行していただき、気分転換をしていただいている。
			(外部評価)		
			<p>ご夫婦で入居されている方に対して、お二人で過ごす時間を大切にされており、ご夫婦で銀行に行かれたり、外食される等、外出することについても支援されている。他の利用者の受診時の送り迎えを一緒にして下さる方もいる。</p>		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			<p>地域で催し物がある時はスタッフ同行のもと利用者に参加するようにしている。</p>		人員の確保や車両の関係で現時点では難しいが、花見や紅葉見学、初詣などその季節にしか出来ないような実施していきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			<p>電話を自由に使用できる。プライバシーが守れるよう自室で子機を使用していただく。本人が出来ない時は、スタッフが中継し声を届ける。</p>		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			<p>家族訪問時には家族も一緒に食事が出来る様に食事を提供している。又ゆっくりと過ごせる様自室での食事も行っている。来客には、お茶を出すよう心がけています。</p>		なるべく長時間、家族と一緒に居られるよう泊まれる家族もいる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全員、意識して取り組んでいる。		医療機関入院中に介護服着用の習慣より離脱にむけて取り組んでいます。排泄の状況で夜間まれに必要とします。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 2階にある施設なので、階段があります。1度、車椅子使用の方の事故があり、フェンス、戸を取り付けました。 (外部評価) 玄関には鍵はかけていない。階段昇降場所にあるフェンスは、ご家族の不安もあり、承諾を得て、取り付けられている。		さらに、利用者が自由に暮らすことのできる環境作りに向けて、工夫を重ねていかれることが期待される。この機会を利用者の視点に立った環境作りについて、職員で話し合う機会とされてはどうだろうか。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 安全、安心を基本に、24H、365日ひとりの方の様子を確認し、状態が分かる様にスタッフ全員が共通認識配慮されている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 現在のところ、各利用者さんに特別注意が必要な物品は、無い。常に危険を防ぐ意識は、スタッフ全員にあり、努力している。		これといって制限はしていない。必要時、あるべき場所に置いて目配り、気配りをしている。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止に取り組む全員意識しているものの、起こるべくして起こる事故、かなり努力しているが、すべては、防ぎ切れない。現在は、平穏無事である。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 研修等にて対処法を学んでいる。利用者の急変、自己発生時の対応は、現在のところ出来ている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害対策に対しては、まだこれから、近隣や自治会の方には協力要請済み、特に夜間は対応が困難である現状。 (外部評価) 年2回、防災訓練を施設内で実施し、防災用具も購入されている。又、地域の方の協力をいただけることとなっている。		消防署の指導を受けて、職員全員が行動出来る様に訓練が必要かと思う。 さらに、いざという時に、すべての利用者が安全に避難できるよう体制作りや話し合い、訓練等を重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 所属長が各利用者の家族に対して十分な説明、話し合いが出来ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 利用者の体調には常日頃より様子観察、変化した場合には、情報の申し送り、対応に配慮されるように出来ている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 申し送りや介護記録の記入により、利用者の服薬と体調変化について確認出来る様、実施している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘に対しては、繊維質の食材使用により、薬に頼らなくて良い様に出来るだけ工夫している。寒い折なので身体を動かすのがもうひと工夫必要かと思えます。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔内は、朝起床時、義歯を装着する時、毎食後の口腔ケアは、チェックもして清潔保持している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食物の好き嫌いがあったりすると、栄養バランスが悪いのでは？と思われる人もいて、利用者間のバラつきがある。なるべく、ちゃんと皆一定の量を摂取していただけるよう努力はしています。 (外部評価) 栄養が偏らないような献立作りに気を付けておられる。職員も一緒に食事をされながら、「おいしいよ」と声掛けをされていた。ペットボトルやポットにお茶を用意し、居室でも自由に飲めるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 清潔保持の為、手洗い、寝具等の乾燥、洗濯、清掃等、定期的な漂白剤使用の拭き掃除。部屋の換気等、まめに行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>冷蔵庫の中身など定期的に点検する。食材の購入時、特売品など買われないようにし、鮮度のいい物を購入するようにしている。</p>		<p>毎朝及び状況によってその都度、流しの清掃を行っている。又布巾など汚れが付着しやすいものはハイター消毒など頻繁にするよう心がけている。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関周りに草花を植え、表札も大きく見やすいようにしている。又車での来所もしやすい様、駐車場も確保している。建物にスタンドグラスを用い、外部から見ても親近感がある作りをしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所には、アコーディオンカーテンの設置、浴室には、ブラインド、トイレには、カーテンをつけるなど。不快な音や光がないようにし、又プライバシーの配慮にも気を付けている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>廊下に椅子を置かれたり、歩く訓練をされている方もおられる。廊下でくつろがれている利用者の足元には、暖房器具が用意されていた。居間には畳の間もあり、趣味の本や小説等も並べられていた。</p>		<p>換気を適宜行い、冷暖房の温度調節なども適切にして、快適に過ごせるようにしている。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>畳の空間を作り、スタッフと利用者、又利用者同士、気軽に会話ができる様にしています。廊下には、長椅子やテーブルを設置し、好きな所で過ごせるようにしている。</p>		<p>利用者の自室にもテーブルや椅子の設置などゆったりと過ごせるような空間にしたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族の方と居室等の家具の配置を相談し、本人がゆっくり休める様にしている。		男性利用者様は、殺風景になりやすくカレンダー等を用意している。
			(外部評価)		
			タンスやラジオ等、ご自宅で使っておられたものが持ち込まれていた。又、本や旅行の土産物等、ご家族の方からのプレゼントを大切に飾っておられる方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			食事に出て行く時、必ず窓を開けて換気している。		一階から臭い等が上がってくるのでなかなか換気が出来ない。階下の事業所から、階段を伝わって臭い上がるので声かけし合って改善に努めています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			長く、日当たりが良い障害物の少ない廊下がリハビリに好都合です。居室の前にて、座椅子の設置が出来ており、疲れたら休憩出来る場所がある。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の目線に、物がとりやすい工夫等をしていると思う。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			利用者と一緒に花などを育てたり、見たりする。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員とのコミュニケーションは、とれており思いやりや意見を聞いてケア出来ています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	3度の食後1時間は、ゆっくりと会話やテレビの観賞を楽しみ、お茶や入浴時マンツーマンの対応をさせて頂いています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の希望を言って頂き、それぞれの過ごし方を伺い尊重出来ている。部屋で食事を取ったり、自室で過ごしたりしていたり(個人性の尊重)
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔や自分の意見がいえっている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	初詣や受診、買物、家族との外泊や外出の機会を持っているが、全員揃って戸外へは困難です。ボランティアの開発し出掛ける場を増やす必要がある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医学的管理が出来る支援体制の確立が出来る健康診査やインフルエンザワクチン、家族の許可を得全員受けれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意見を表出来ない利用者様に対して客観的な判断をする恐れを持っています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の思いも大切に考えており、信頼関係が深まり安心して旅行に出掛けられる。家族様より、利用者様の外泊時グループホームが一番といわれると聞くこともあります。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	家族、親族、限られた地域の方に隔されている。子供や学生さん達の訪問を受けれるようにしたい。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ③あまり増えていない 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 4 全くいない	開設時から支援者との関係は、継続している。第三者から施設への期待を聞くことは あるも実際にはその力をグループホームに活用して頂けないのが現状である。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ③職員の1/3くらいが 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 4 ほとんどいない	離職率や仕事のハードさからゆとりを持ってないのが現状です。職員間のコミュニ ケーションの場とレクリエーションが必要と考えています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ③利用者の1/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者様との高齢化で活動性の低下があり、余暇の過ごし方を検討する必要がある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ③家族等の1/3くらいが 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族様が遠方に住んでいたりと、老々家族、独居の方であり判断しづらい側面がありま す。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

グループホーム あおぞらは、開設二年目の施設です。当施設は、新居浜市のほぼ中心に流れる国領川沿いにあり、春は桜、夏は花火大会、秋は祭り、市民のいこいの場でもあります。自然環境に恵まれて、利用者様の散歩コースに最適です。天気の良い日は、窓一杯のステンドグラスを通しての日射は、温かで利用者様は、オープンカフェさながらにお茶を楽しみ、日光浴をされています。又、窓越しにお隣さんと挨拶をかわせる暮らしがあります。老いても住み慣れた町で暮したい、地域密着型の施設としての理念に叶った場が(グループホーム あおぞら)にはあります。利用者様のあるがままの姿勢によりそい、思いと尊厳を大切に受けとめ、穏やかに安心して暮せる家でありたいと願っています。地域の人達に支えて頂き、利用者様、家族様、私達が喜びを共に分かち合っけてゆける生活の場です。